

湊川相野学園 ニュース

発行:2017年12月
湊川相野学園理事長室会

No.

37

ひとを育て、ともに歩んで100周年



湊川短期大学

「キャンパス整備竣工式ならびに完成披露会」

11月23日(祝)湊川短期大学の新しく整備されたキャンパスの竣工式(午前中 28 名列席)と、完成披露会(午後 102 名参加)が行なわれました。午後の完成披露会は三田松聖高等学校吹奏楽部の演奏で開始され、「湊川短期大学のこれまでとこれから」という演題で末本 誠短大校長の記念講演がありました。「これまで」を見直すという前半部分は 1919 (大正 8) 年の本学設立の意義を見直す内容で、当時日本中に広がった裁縫女学校に対する従来の評価が、県立高等女学校を頂点とする女子教育のピラミッドの最底辺を構成するに過ぎないとされてきたのが、近年の研究の中では従来の仕立屋型の弟子育成法ではない新しい裁縫教育をとり入れた近代的な性格を持つものである点が注目されるようになり、それを市井の子女に享受する地域の人材育成において重要な役割を果たしてきたことが注目されているというものでした。後半の「現在とこれから」では、現在の湊川短期大学がこの歴史と伝統を受け継ぎ、幼児教育・保育や介護福祉、健康教育関連の、地域の人々の生存や暮らしに欠かせない専門的な能力をもつ人材を育てていること、またその充実のために「湊川の歩み」という新たな授業への取組や「キャリア教育」の充実、「茶道教育」による心遣いの鍛錬などの教育的な取り組みがあることが紹介されました。そして昨年度つくられた、育てるべき学生の資質に関する「7つの教育目標」についての内容の紹介がありました。最後に本短期大学の存在理由が、地域での人々の生存や暮らしに欠かせない人材を育て社会に送り出すことであり、地域に開かれ地域に支えられる短大を目指すことだとの決意が表明されました。講演終了後は教職員のガイドによる館内ツアーが行われ、新たに生まれた学舎や庭園が学生たちにとって快適で学びやすい環境に生まれ変わったことを皆で確認しました。



三田松聖高等学校「サッカーグラウンド地鎮祭」

11月15日、三田松聖高等学校総合グラウンドにおいて、新設されるサッカー場工事の地鎮祭が浅井理事長をはじめ学園関係者、設計・工事関係者が参列して執り行われました。
このサッカー場は、66m×103mのピッチがとれるサッカー専用の人工芝グラウンドで来春完成予定です。サッカー河本監督は、「素晴らしい環境を整えていただくので、兵庫のナンバー1を目指し頑張ります。」と抱負を語ってくれました。



三田松聖高等学校 稲富宏樹選手 「北摂情報文化懇話会に招かれる」

12月7日神戸新聞北摂総局主催の北摂情報文化会 12 月特別例会に、プロ野球オリックスから育成ドラフト 1 位で指名された三田松聖高等学校の稲富宏樹選手がゲストとして招かれ「一日でも早く 1 軍で試合に出られるようガムシャラに頑張る」という決意を語りました。彼は女手一つで一生懸命育ててくれた母に感謝し、体調を崩して野球を辞めようとしたとき、夢を諦めるな!と母が励ましてくれたからこそ、今の自分があると思っている。自分が活躍できれば、きっと母も喜んでくれると信じて野球を続けたいと現在の抱負を話してくれました。



「湊川親睦ゴルフコンペで女子優勝」

第 128 回湊川親睦ゴルフコンペが吉川カントリー倶楽部で行なわれました。今回は 21 名の学園関係者が参加し、和気藹々のゴルフを楽しみました。競技方法は新ペリア方式でそれぞれのハンディによって全員に優勝のチャンスがありました。
このコンペで短大附属西舞子幼稚園(園長:大前 成美)教諭 錦 夢子さんがアウト 50、イン 50 の安定したスコアで上がり、見事ウイナーとなりました。
優勝コメントで、「このゴルフ大会に参加する同僚を増やし、次回も優勝を目指したいですね。」とのことでした。

